

FLU+BU4+MEL80療法(Day6)

【血液内科】235-6【同種造血幹細胞移植前処置】
(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール :

Day	1	2	3	4	5	6	7	~
施行日	/	/	/	/	/	/	/	/
フルダラ	↓	↓	↓	↓	↓	↓	休薬	移
ブスルフェクス	↓	↓	↓	↓	休薬	休薬	休薬	植
アルケラン	休薬	休薬	休薬	休薬	↓	↓	休薬	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	投与時間	
		メイン輸液 ※臨時処方で別オーダー
①	10時	デキサート注1.65mg 2A グラニセロンバッグ 100mL 30分
②	10時30分	●アルケラン【 】mg 生食 100mL 15分
③	10時45分	生食 50mL 10分
④	10時55分	●フルダラ【 】mg 注射用水 生食 100mL 30分 ※フルダラ1V当り注射用水2.5mLで溶解

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量	
フルダラ	30 mg/m ²	mg/Body
ブスルフェクス	3.2 mg/kg	mg/Body
アルケラン	40 mg/m ²	mg/Body

■注意・確認事項

- 中心静脈から投与すること。
- 痙攣予防として抗痙攣薬(レベチラセタム等)の投与を考慮すること。
- アルケランは調製後90分以内に投与を終了すること(安定性が低下するため)。
- アルケランは糖類を含む輸液と配合すると分解しやすいので使用しないこと。

入力 薬剤師	看護師	看護師